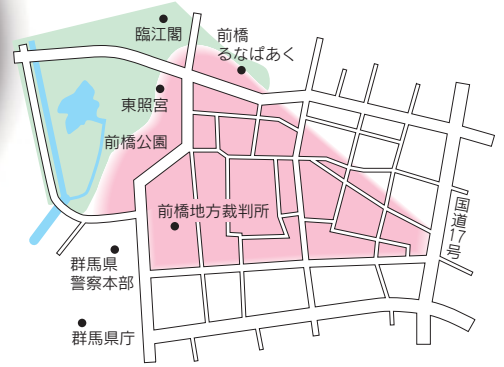


北曲輪町

Kitakuruwa-cho



前橋公園とるなばあくを結ぶトンネル

おじいちゃん…今日は北曲輪町に行ってみよう。

ボ ク…なんて読むの？

おじいちゃん…「きたくるわちよう」と呼ぶんだよ。

ボ ク…いつからこの町名があるの？

おじいちゃん…先日訪れた曲輪町と同じく、江戸時代は前橋城下の武家地であり、柳原十人小路、島田曲輪といつていて明治6年に北曲輪町とし、明治22年の町名返還を経て昭和41年住居表示が実施されるまでそう呼ばれたんだよ。

ボ ク…なんでそういう町名になったの？

おじいちゃん…先日訪れた曲輪町と同じく、ここにもかつて前橋城があつて、城の北側、三の丸のあったところに来たたまちなんだよ。

ボ ク…今はどこになるのかなあ。

おじいちゃん…先日訪れた神明町と曲輪町を挟んだ中に位置しているよ。西は東照宮や臨江閣、北は前橋城の水の手にあたる風呂川と中央児童遊園るなばあく、東は関口整形外科までの範囲だね。

ボ ク…当時の北曲輪町の様子を見たいよ。

おじいちゃん…昔は住宅街であり、また医者と弁護士と官吏のまちだったんだよ。

ボ ク…まちを歩くと病院や法律事務所、知事公舎、報道支局があるから昔と変わっていないね。あれっ？まちの中に水路が通っているよ。

おじいちゃん…この水路は神明町境の風呂川から流れていて、紺屋町の馬場川に合流しているんだよ。かつて前橋城の堀跡だったのだからね。

ボ ク…そうなんだあ。あとは何があるの？

おじいちゃん…前橋公園も北曲輪町に入るね。さちの池の北に戦時中は市民農園があつて、戦時中食糧不足を補っていたそうだよ。また、競輪場や市民プールもあつたね。今は区域を拡げて前橋公園のエリアになっていて、ここに隣接する臨江閣は戦時中として昭和29年新庁舎が出来るまで市役所として使っていたんだ。この住所が柳町1番地で、元来広瀬川の端に柳の木が多かつたためそう呼ばれ、柳町はここしかなく、北曲輪町に含ま

れていたんだ。

ボ ク…今も当時のままの建物が残っていて大切にしていきたいね。

おじいちゃん…臨江閣の南側にひょうたん池のある日本庭園があり、ここから東へ通じる玉石が積まれた小さなトンネルがあるけど、昔から変わっていないね。昔の子供たちは、このトンネルに入って大きな声で叫んだんだ。するとその声が響くので面白がつて大声を出したものだよ。実は詩人萩原朔太郎も北曲輪町の生まれで、このトンネルのそばに「波宜亭（はぎてい）」という茶店があり、よく通つたそうだよ。大正10年に前橋市の公園計画に伴い、店は閉じられたんだ。

ボ ク…今もトンネルや臨江閣、ひょうたん池のある日本庭園があるのだから、この茶店も残っていたら良かったなと思うよ。

おじいちゃん…このトンネルの先に中央児童遊園るなばあくがあるよ。江戸時代の頃、ここは前橋城の空濠（からばり）だったんだ。当時、普段この空濠は武士たちの武道を訓練したところで、いざ合戦となれば、土手を切り風呂川の水を流し込んで敵の来襲を防いだというよ。この空濠を市の公園としたのは大正10年のことで、それ以前は赤城牧場だったんだ。県の勧めで搾乳所として設けられ赤城牧社といったんだ。そして昭和29年前橋グラウンド・フェアーが開催された時、その第2会場としてつくられ、終了後児童遊園として残され、今日に至っている。

ボ ク…だから今でも窪地になっているんだね。それにしても、トンネルの中に入り、ひょうたん池のある日本庭園と、るなばあくを両方眺めるとタイムトンネルに入った気分になり、何となく哀愁漂う風景に映るよ。この玉石が積まれたトンネルはいつまでも残しておきたいね。

おじいちゃん…そうだね。では、次回は南曲輪町・石川町に行ってみよう。

※前橋公園とるなばあくを結ぶトンネルは、平成22年11月からの市道拡幅工事に伴い撤去され、新たに造り直される予定です。



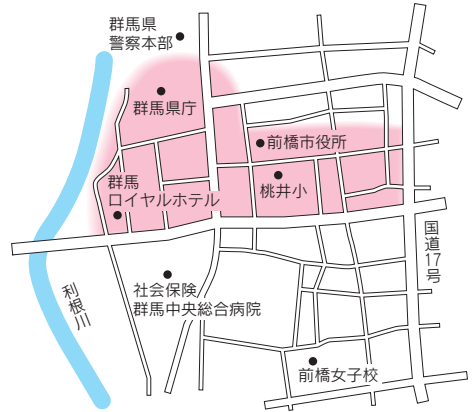
南曲輪町・石川町

Minamikuruwa-cho & Ishikawa-cho



昭和 25 年頃の様子。中央に青果市場の長い屋根。その上に前橋天主教会、その左に前橋放送局の鉄塔を眺む

(出典：(株)国書刊行会「ふるさとの想い出」 写真集 前橋)



おじいちゃん…今日は南曲輪町と石川町に行ってみよう。

ボ…なんて読むの？

おじいちゃん…「みなみくるわちよう、いしかわちよう」と呼ぶんだよ。

ボ…いつからこの町名があるの？

おじいちゃん…先日訪れた曲輪町や北曲輪町と同じく、江戸時代は前橋城下の武家地であり、水曲輪、内柿ノ宮といっている。明治6年に南曲輪町、また、外柿ノ宮、石川小路といつて明治6年に石川町とし、明治22年の町名返還を経て昭和41年住居表示が実施されるまでそう呼ばれたんだよ。

ボ…なんでそういう町名になったの？

おじいちゃん…先日訪れた曲輪町や北曲輪町と同じく、ここにもかつて前橋城があつて、城の南側、二の丸のあつたところに出来たまちなんだよ。柿ノ宮は前橋城南西に配置された曲輪で柿ノ宮門として城の南面を防御していたんだ。石川小路は酒井氏の上級家臣石川氏が居住したところから名がつき、柿ノ宮に抜けるところに石川門があり、そこから石川町と名づけたんだよ。

ボ…今はどこになるのかなあ。

おじいちゃん…南曲輪町は先日訪れた曲輪町の南に位置しているし、石川町はそのまた南に群馬大橋線を挟んで位置しているよ。

ボ…当時の南曲輪町と石川町の様子を見たいよ。

おじいちゃん…昔は両町とも池や田畑、そこに士族だった旧家があつたりしたそうだよ。特に利根川河畔一帯にかなり広い桑畑などが見受けられたが、この辺りに住む旧士族の人たちが内職であつた養蚕を営んでいたんだよ。また、現在の群馬ロイヤルホテル付近に前橋放送局があつた。昭和6年に前橋市と前橋商工会議所とで放送局の促進運動を展開し、昭和8年に放送が

開始されたんだ。

東京方面から汽車で利根橋の鉄橋を渡ると、左側に放送局の2本の高い鉄塔が見えたそうで、もう前橋駅はすぐだ、と思つたそうだ。

時代が過ぎて、南曲輪町には副知事、部課長級、前橋署長等の官舎や市営住宅、前橋青果市場や県下の製パン界を風靡したフランスパンがあつたね。今でもあるのは本願寺の説教寺である清光寺、明治6年学制が布かれて以来で相当に古い歴史を持つている桃井小学校、明治27年以降の歴史を持つカトリック教会ともいう前橋天主教会だね。前橋天主教会は今でも、天空に突き刺さる二基の尖塔の美観は、見るものの心に思わず安心感を与えているね。

ボ…昔にあつた遺構は何かあるの？

おじいちゃん…桃井小学校の西側あたりに前橋城の三日月御門があつて、古い地図を見ると、その半分が地籍として残されているが、今では跡形もないね。かつては、小さいながらも堀跡の池がたくさんあり、特に、学校の南側に三日月濠などいくつかの養鯉の池があつたが、今はすっかり埋立てられて住宅地となっている。ちなみに三日月という名は土手と堀とで三日月形の障壁が築かれていたので名づけられたが、これは敵に城内を見透かされない用心であつたんだ。

ボ…このまちには前橋城の南を守る門や土手、堀、池があつたんだね。今は残っていないけど、残しておきたい話であるし、唯一まち中にある寺、古い歴史を持つ学校、まちの風景に馴染んでいる教会は大切にしていきたいね。

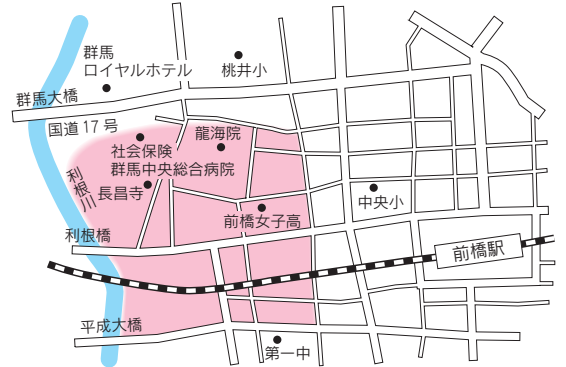
おじいちゃん…そうだね。では、今回は紅雲町に行ってみよう。

紅雲町

Kouun-cho



龍海院、「まえばし」の今昔を静かに見守る



おじいちゃん…今日は紅雲町に行ってみよう。

ク…なんて読むの？

おじいちゃん…「こううんちょう」と呼ぶんだよ。

ボ…いつから、そしてなんでそういう町名になったの？

おじいちゃん…江戸期から「紅雲」という文字の記録があり、紅雲分とあるよ。江戸期から明治22年まで紅雲分村と言っていたよ。「分」は本来ある人の知行を示すのが普通であるから紅雲と号する人の知行が村名になったものと考えられるが記録にはそれらしい人物は見当たらないね。ただ戦国時代の上杉・武田両氏が石倉城・厩橋城の攻防戦を行った当時、その家来の武将たちの持分が村名になったという説がある。その後、前橋町が誕生した明治22年から43年まで紅雲分という大字名となり、特に明治25年からは前橋市の大字になったんだ。そして、明治43年から現在まで、紅雲町となったんだ。このまちでは紅（くれない）色の美しい雲のたなびく事があったことどう呼ばれている、と話すまちの人がいたそうだよ。

ボ…だいが古くからずとある地名で今も町名が残っていてロマンチックな話もあるんだね。ところで、このまちはどこになるのかなあ。

おじいちゃん…北は先日訪ねた南曲輪町、石川町、西は利根川沿いまで、南は平成大橋通りまでの範囲だね。

ク…当時の紅雲町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん…昔は市中央部から遠いため発展しなかったけど、住宅街の中、まちの西端にある利根橋を経て石倉、元総社、高崎などへ通じる重要な地域だったんだよ。前橋駅にも近いだけあって会社や工場は揃っていたんだよ。今はもうないけれど阿部産業、川隅木工、前橋煉瓦などがあつたんだ。

ク…その中で特に目をひくものはあるの？

おじいちゃん…現在の群馬中央総合病院の前は前橋中学校

(現前橋高等学校)で、その前は前橋煉瓦があつたんだよ。色々な建物の煉瓦はこの土地の土で作られていたそうだよ。距離的にも近いかつての煉瓦積みだった前橋駅や現在も煉瓦積み前の前橋刑務所の煉瓦は、確かではないけれど、この前橋煉瓦で作られたものかもしれない。

ボ…仮にそうだとしたら、地元の土で煉瓦を作り主要な建物に使った事は意義のある事だと思っよ。

おじいちゃん…そうだね。いわゆる地場産業だね。

ボ…何か神社仏閣があるの？

おじいちゃん…前橋城主酒井家の菩提所である龍海院があるよ。最初、岩神に建てられたが火災により現在地に移したんだ。境内には歴代城主の墓所があつたり、初代市長下村善太郎の墓があり、ともに市の文化財に指定されているよ。また、利根川河畔に望む長昌寺があり、太田道灌が彫つたと言ひ伝えられている黒焦げの大黒様や先日訪ねた南曲輪町の清光寺との墓地争いの折に出来た仲良し地蔵が本堂側に立っているよ。さらにまちの鎮守様とされる人丸様と呼ばれる厳島神社があるよ。柿本人麿を祀っており万葉歌碑があることどう呼ばれている。創立は明らかではないが、鎌倉時代以前から祀られている古いお宮のようだよ。また、神社西にある利根橋は昔、大水で流出したため、利根川下流の横手という所に祀ってあつた水天宮を今後水害が起きないようにと、この境内に移して祀つたんだよ。

ク…まちの中には由緒ある神社仏閣が色々あり、どこも静寂な雰囲気や落ち着く場所だね。このような神社仏閣や煉瓦づくりの建物、そして昔からあるこの町名は大事にしていきたいね。

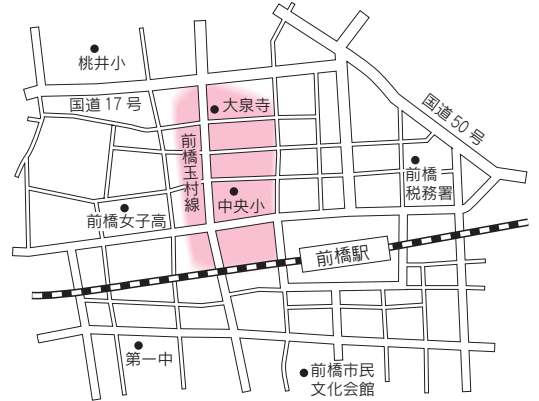
おじいちゃん…そうだね。では、次回は堀川町に行ってみよう。



まちを見守る大泉寺、蓮を型どる本堂

堀川町

Horikawa-cho



おじいちゃん：今日は堀川町に行ってみよう。

ボク：なんて読むの？

おじいちゃん：「ほりかわちょう」と呼ぶんだよ。

ボク：いつから、そしてなんでそういう町名になったの？

おじいちゃん：江戸期は町人町の南に置かれた武家住居区域で川窪・砂堀といっていたんだよ。この川窪・砂堀を合わせ、両字の一字ずつを採って堀川町とし、明治7年から昭和41年までこう呼ばれていたんだよ。

ボク：このまちはどこになるのかなあ。
おじいちゃん：先日訪れた南曲輪町や石川町と隣接し、県道前橋玉村線と平行に連なっているまぢだよ。

ボク：当時の堀川町の様子を見てみたいよ。
おじいちゃん：江戸期は前橋藩でも中流の藩士が住んでいたところであるが、明治維新を迎えるにあたって、生計を立てるために鯉を飼ったといい、昭和10年頃までは鯉や金魚を飼育する池があちこちに見受けられていたというよ。そして、この鯉は市中の料理店はもとより、伊香保や磯部の温泉地へも出し、珍味だったそうだ。

ボク：鯉が泳いでいた池のあるまぢかあ。もうどこにもないね。
おじいちゃん：夕照に沈みながら先日訪れた紅雲町の龍海院の杜に巢食う青鷺(あおさぎ)が、この鯉を目当てに飛んできて、水面をかすめる音にまちの人達の耳目をおどろかせていたものさそうだ。

ボク：他に何かあるの？
おじいちゃん：明治30年に青果市場が開かれ、敷地600坪余、周囲に小屋を造り、時季になると毎朝近郷近在から農夫が野菜や果物を運び込み、午前中は車でいっぱいになるほど賑わっていたさうだよ。また、まち中に杜若(かきつばた)を始め、藤や菖蒲が

咲競う児玉園があつて名物だったんだよ。茶菓子まで出たといい、賑やかだったさうだよ。残念ながら明治40年頃廢園となったんだ。ひところまであつた釣堀ののんびりした風景も影を消してしまつた。

ボク：もうこの二つはないね。でも、まだ残っているものは何かあるの？

おじいちゃん：県道前橋玉村線沿いの東京電力は明治43年に開業した利根発電が大正10年に東京電燈に合併され、古い歴史を持っているんだよ。また、このまちで有名だった鈴木裁縫学校は、鈴木シゲさんによって明治36年に創立され、多くの子女を育てきたさうで、現在も専門学校として継承されているさうだよ。

ボク：今でも意思を受け継いで存続しているんだね。ところで何か神社仏閣があるの？
おじいちゃん：東本願寺系の門徒衆寺である大泉寺があるよ。前橋大空襲の戦災にあい、楼や庫裏共に焼失したが、御本尊の阿弥陀如来像と色彩細やかな聖徳太子像は難を逃れ、現在も安置されているよ。また、現在の本堂は仏教の象徴である蓮(はす)を型どつて異色の近代建築になつている。ちなみに、昔はこの寺から龍海院までの道は寂しく、明治初年頃でも狐の通い道といわれるほどであつたというよ。

ボク：なくなつてしまつたもの、現在も存続しているもの、色々変化のあるまぢだけど、ご本尊様と聖徳太子様がこのまぢを守っているのかな。それにしても聖徳太子像は重厚で赴きのある立派なお姿をしておられるね。

おじいちゃん：さうだね。では、次回は田中町に行ってみよう。